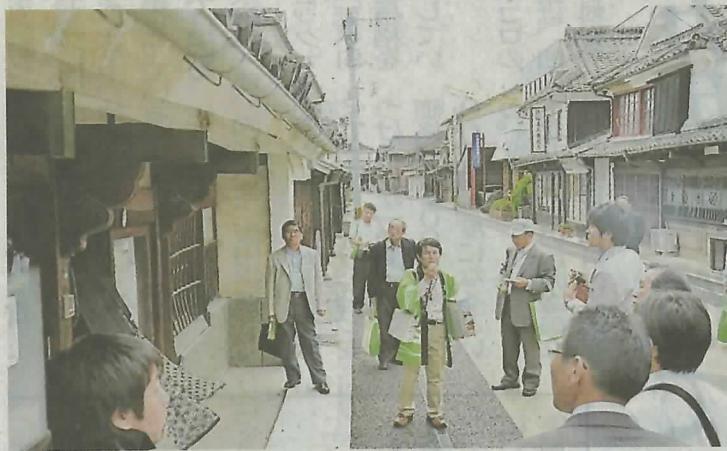


1587	筑紫広門が福島城築城。関ヶ原の戦いの後、田中吉政が城下町をつくる
1620	久留米藩の支配下となり廃城。その後も経済の中心地として発展
1988	旧木下家住宅が市に寄贈される。修理、復元後の92年に公開
91	台風17号、19号によって伝統的町家に大きな被害
93	町づくり団体「八女・本町筋を愛する会」発足。「八女町屋まつり」開催
94	町づくり団体「八女ふるさと塾」発足
95	国土交通省「街なみ環境整備事業」による町並みの整備事業始まる
97	造り酒屋跡を復元整備した八女市横町町家交流館オープン
2000	地元建築士らによる「八女町並みデザイン研究会」発足
01	「八女市文化的景観条例」制定し、「八女市文化的景観審議会」発足
02	福島地区が国の「重要伝統的建造物群保存地区」に選ばれる
04	空き町家の紹介などに取り組む「NPO法人八女町家再生応援団」発足
09	町歩きイベント「白壁ギャラリー」が若者主体の運営形態に
12	「全国伝統的建造物群保存地区協議会」の総会が八女市で開催

自壁の町並みが残る八女市福島地区が国の重要伝統的建造物群保存地区(伝建地区)に選ばれて23日で10年を迎えた。この間、古い町家を保存・活用する動きが加速。34軒が修復され、20~40代を中心とした個人や商店が29軒に入居するなど、新たにぎわいも生まれている。一方、地域の人口減少や高齢化、活動の継承など課題も山積しており、関係者の試行錯誤は続いている。

(糸山信)

八女市福島 伝建地区10年



福島地区の白壁の町並みを視察する全国自治体の伝建地区担当者ら



代表的取り組みが、市民団体が協力し、遠隔地に住む所有者の代わりに町

高齢化など依然課題 試行錯誤続く

の工事費のうち公的補助を除いた1070万円を1人で建て替えたのだ。

◆止まらぬ人口減

市によると、伝建地区

町並み保存や地域づくりに関わる団体は10近くあるが、十数人の主要メンバーが各団体の要職を兼任しており、後継者育成を求める声が多い。

若手が入居催し次々

こうした現状を打開する取り組みとして注目されているのが、20~40代の町歩きイベント「白壁ギャラリー」。若者受けの商店主ら約10人が3年前に運営を引き継いだ11月に運営を呼び掛け、手書きの地図作製などをPRに

決まるため、町家はどれも入り口が狭く細長い造りで、「うなぎの寝床」と呼ばれています」

全国61市町村から伝建地区関係者300人が集まり16~18日に福島地区で開かれた「全国伝統的建造物群保存地区協議会」の現地視察。かつては八女提灯の製造元で、今は5年前に入居した木

初め、市も95年から国の「全国的にも空き家対策の先進地」と呼ばれる北島力代表が、好機逃さずかけたかった」。こう

行われた修復工事。入居希望の相談を受けたNPO法人町家再生応援団の北島力代表が、好機逃さずかけたかった」。こう

當時、北島さんは町並み保存を担当する市職員。建替えた金は、入居者への賃料で返済される。北島力代表からも反対されたが意志を貫いた。「なんとして居者の賃料で返済される。北島力代表が、好機逃さずかけたかった」。こう

資金を出し合って町家を修復・活用する事業だ。員。建替えた金は、入居者への賃料で返済される。北島力代表が、好機逃さずかけたかった」。こう

資金を出し合って町家を修復・活用する事業だ。員。建替えた金は、入居者への賃料で返済される。北島力代表が、好機逃さずかけたかった」。こう

資金を出し合って町家を修復・活用する事業だ。員。建替えた金は、入居者への賃料で返済される。北島力代表が、好機逃さずかけたかった」。こう

◆町家を守る決意

O法人町家再生応援団の北島力代表が、好機逃さずかけたかった」。こう

資金を出し合って町家を修復・活用する事業だ。員。建替えた金は、入居者への賃料で返済される。北島力代表が、好機逃さずかけたかった」。こう

資金を出し合って町家を修復・活用する事業だ。員。建替えた金は、入居者への賃料で返済される。北島力代表が、好機逃さずかけたかった」。こう

資金を出し合って町家を修復・活用する事業だ。員。建替えた金は、入居者への賃料で返済される。北島力代表が、好機逃さずかけたかった」。こう

資金を出し合って町家を修復・活用する事業だ。員。建替えた金は、入居者への賃料で返済される。北島力代表が、好機逃さずかけたかった」。こう

資金を出し合って町家を修復・活用する事業だ。員。建替えた金は、入居者への賃料で返済される。北島力代表が、好機逃さずかけたかった」。こう

八女市福島の伝建地区

面積は約19・8haで、対象となる建築物は母屋や土蔵など1

人が暮らす。

福島地区では伝建地区以外で

も、街なみ環境整備事業地区内

どめることで条件に修復費の8

割が補助(限度額960万円)

であれば母屋修復費の3分の2

割が補助(限度額800万円)

される。町家への入居希望の問い合わせは、北島代表=

090(8413)6128。

町家復活にぎわい再び

クードBOX